

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

田辺工業 8年ぶり8強

新翔市和歌山に惜敗

第97回全国高校野球選手権

和歌山大会

全国高校野球選手権和歌山大会は19日、和歌山市の紀三井寺球場で3回戦3試合があった。3年ぶりに初戦(12日の2回戦)を突破した新翔は、市和歌山に4-6で敗れた。田辺工業は初芝橋本に2-0で勝利。8年ぶり6回目の8強入りを決めた。

①第2試合
新翔 010210000 4
11001021x 6
市和歌山

(新)舟崎浩一山本拓(市) 赤羽、稲垣和、栗栖一田中▽本塁打山本拓(新)▽二塁打岡部、中本(新)、肥生(市)

新翔は1点をリードされて迎えた4回、2死一塁から山

本拓が左翼への本塁打を打って逆転。5回には相手守備の乱れから1点追加し、昨年の覇者と接戦を展開した。しかし、終盤に相次いで失点。試合後、堀木雅之監督は「先発の舟崎は悪くなかったが、後半は苦しかった。市和歌山には、簡単に打ち取らせてくれない強さを感じた」と唇をかんだ。

①第3試合
田辺工業 000000011 2
000000000 0
初芝橋本

(田)那須一昌中(初)和田、棟羽一黒瀬▽三塁打金沢(初)▽二塁打岡田、田上(田)

シード校に勝ち、プロ注目の選手もいる初芝橋本の打線を、田辺工業が完封した。稲垣友輔監督は「このチームでやってきて、今日がベストゲーム」と試合後に語った。

その中心は3年の那須悠哉投手。毎回のように走者は出すものの、要所を締める投球を見せた。7回には1死三塁の場面で「足を上げた時に走者が本塁へ突っ込むのが見えた」ため、サインなしでウエスト。スクイズを狙った打者を投飛に打ち取り、走者も戻れず併殺に。ピンチを切り抜



田辺工業-初芝橋本 田辺工業は7回、1死三塁のピンチでスクイズを見抜き、併殺を完成。無失点で切り抜ける(19日、和歌山市の紀三井寺球場で)

けた。これで流れをつかんだ田辺工業は8、9回に敵失と適時打で得点。試合を決めた。「毎回、集中して投げられた」と試合を振り返った那須投手。「ここまで来たら相手はどこも格上。次もしっかり

低めにコントロールして投げたい」と話した。

①第1試合(3回戦)
智弁和歌山8-1桐蔭(7回コールド)

18日の結果

①第1試合(3回戦)
箕島2-1貴志川

②第2試合(3回戦)
耐久5-4和歌山東(延長10回)

①21日の試合
第1試合(午前10時)
箕島-耐久

第2試合(午後0時半)
智弁和歌山-市和歌山

田辺工業	打	安	点	
[中]	岡柏大	4	1	0
[一]	田木和	4	0	0
[三]	和須池	3	1	0
[投]	田上中	3	1	0
[右]	田上中	4	1	0
[左]	中川	1	1	0
[遊]	湯	3	0	0
[捕]	儀	4	2	1
[中]	併	5	28	5
[振]	球	4	4	2

初芝橋本	打	安	点	
[投]	田山	4	2	0
[中]	山	3	0	0
[左]	山	4	0	0
[中]	山	2	0	0
[捕]	山	4	0	0
[右]	山	3	1	0
[遊]	山	4	1	0
[三]	山	3	1	0
[一]	山	4	1	0
[中]	山	2	0	0
[振]	山	1	1	0
[球]	山	3	4	2
[併]	山	1	9	30
[残]	山	5	5	0

投手	回	安	責
那須	9	5	0
田羽	7½	4	0
和棟	1½	1	0

新翔	打	安	点	
[右]	山本知	4	0	0
[一]	地浩	2	0	0
[投]	部本	3	1	0
[三]	部本	4	1	0
[左]	部本	4	2	0
[遊]	部本	2	2	0
[捕]	部本	1	1	0
[中]	部本	3	1	2
[振]	部本	4	0	0
[球]	部本	3	0	0
[併]	部本	1	6	30
[残]	部本	5	2	2

市和歌山	打	安	点	
[三]	山崎	4	2	1
[遊]	山崎	3	1	2
[捕]	山崎	4	1	1
[右]	山崎	1	0	0
[左]	山崎	1	0	0
[遊]	山崎	3	1	0
[捕]	山崎	4	0	0
[中]	山崎	1	0	0
[振]	山崎	1	1	0
[球]	山崎	2	2	1
[併]	山崎	1	8	29
[残]	山崎	10	6	5

投手	回	安	責
舟崎浩	8	10	5
赤羽	3	1	1
稲垣	2	1	2
栗栖	4	3	0